

議案第 1 号

公益的法人等への職員の派遣等に関する規則の一部改正について

令和 4 年 3 月 10 日 提出 岩手県人事委員会 委員長 熊谷 隆司

第 1 趣旨

職員を派遣することができる公益的法人等の追加等に伴い、所要の改正をしようとするものである。

第 2 規則案の内容

- (1) 一般社団法人岩手県医師会へ職員を派遣するため、当該法人に係る規定を追加すること。（第 2 条第 1 項関係）
- (2) 公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会解散に伴い、当該法人に係る規定を削除すること。（第 2 条第 4 項関係）

第 3 施行期日（附則関係）

令和 4 年 4 月 1 日から施行すること。

公益的法人等への職員の派遣等に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 年 月 日

岩手県人事委員会

委員長 熊 谷 隆 司

岩手県人事委員会規則第 号

公益的法人等への職員の派遣等に関する規則の一部を改正する規則

公益的法人等への職員の派遣等に関する規則（平成14年岩手県人事委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
<p>（職員を派遣することができる公益的法人等）</p> <p>第2条 条例第2条第1項第1号の人事委員会規則で定めるものは、次に掲げる法人とする。</p> <p>（1）～（7） [略]</p> <p><u>（8） [略]</u></p> <p><u>（9） [略]</u></p> <p><u>（10） [略]</u></p> <p><u>（11） [略]</u></p> <p><u>（12） [略]</u></p> <p><u>（13） [略]</u></p> <p><u>（14） [略]</u></p> <p><u>（15） [略]</u></p> <p><u>（16） [略]</u></p> <p>2・3 [略]</p> <p>4 条例第2条第1項第5号の人事委員会規則で定めるものは、一般社団法人地方税電子化協議会、<u>公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会</u>、社会福祉法人恩賜財団済生会及び公益社団法人全国自治体病院協議会とする。</p>	<p>（職員を派遣することができる公益的法人等）</p> <p>第2条 条例第2条第1項第1号の人事委員会規則で定めるものは、次に掲げる法人とする。</p> <p>（1）～（7） [略]</p> <p><u>（8） 一般社団法人岩手県医師会</u></p> <p><u>（9） [略]</u></p> <p><u>（10） [略]</u></p> <p><u>（11） [略]</u></p> <p><u>（12） [略]</u></p> <p><u>（13） [略]</u></p> <p><u>（14） [略]</u></p> <p><u>（15） [略]</u></p> <p><u>（16） [略]</u></p> <p><u>（17） [略]</u></p> <p>2・3 [略]</p> <p>4 条例第2条第1項第5号の人事委員会規則で定めるものは、一般社団法人地方税電子化協議会、社会福祉法人恩賜財団済生会及び公益社団法人全国自治体病院協議会とする。</p>
備考 改正部分は、下線の部分である。	

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

公益的法人等への職員の派遣等に関する規則の一部改正について

1 改正の趣旨

公益的法人等への職員の派遣にあたり、法人の追加及び削除について知事部局から内申があり、適当と認められることから、所要の改正を行おうとするもの。

2 内申内容

(1) 新たな法人の追加（第2条第1項関係）

ア 追加する法人の名称

一般社団法人岩手県医師会

イ 主たる事務所の所在地

岩手県盛岡市菜園2丁目8番20号

ウ 県の事務又は事業との密接な関連

- ・ 岩手県医師会は県政の課題である新型コロナウイルス感染症対策において、ワクチン接種に係る医師の広域的な派遣調整を行う業務を受託している。
- ・ その他、在宅医療制度の支援等の県事業を受託しているほか、本県の医療政策全般において、県と連携しながら取組を推進している。

【派遣職員の主な業務内容】

- ① 新型コロナワクチン医師等広域派遣調整等事業（県委託事業管理運営）
- ② 在宅医療体制支援事業（県委託事業管理運営）
- ③ アドバンス・ケア・プランニング普及啓発事業（県委託事業管理運営）
- ④ 市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修事業（県委託事業管理運営）
- ⑤ 糖尿病性腎症疾病管理強化対策事業（県委託事業管理運営）
- ⑥ 事業の企画及び運営に関する業務 等

エ 人的援助の必要性

- ・ 新型コロナウイルスワクチンの接種を円滑に進めるため、県では職員を岩手県医師会に駐在させ、緊密に連携しながら取組を推進してきたところ。
- ・ 一方、新型コロナウイルス感染症はこれまでの規模をはるかに超える拡大を見せるに至り、ワクチンの接種促進が喫緊の課題となっている。
- ・ 今般、本制度を活用し、岩手県医師会へ人的支援を行うことにより、喫緊の課題への迅速な対応を図るとともに、岩手県医師会と一層緊密に連携しながら、本県の医療政策の一層の推進を図ろうとするもの。

(2) 法人の削除（第2条第4項関係）

ア 削除する法人の名称

公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会

イ 削除の理由

ラグビーワールドカップ2019の大会が終了し、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会は令和2年3月31日に解散しているため

3 対応案

法人の追加及び削除とも内申のとおりとする。

(1) 法人の追加

岩手県医師会の業務は県の事務又は事業と密接な関連を有し、かつ県の施策の推進を図るため人的援助を行うことが必要なものと認められる。

(2) 法人の削除

削除の理由の通り。

4 施行期日

令和4年4月1日から施行すること。

【参考：公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律等の関連規定の要約】**1 公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律（平成12年法律50号）**

任命権者は、業務の全部又は一部が県の事務又は事業と密接な関連を有し、かつ県の施策の推進を図るため人的援助を行うことが必要なものとして条例で定めるもの（公益的法人等）との間の取決めにに基づき、当該公益的法人等の業務にその役職員として専ら従事させるため、職員を派遣することができる。具体的な公益的法人等については、条例で定めることとされている。

2 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例（平成13年岩手県条例第67号）

任命権者は、県が基本金その他これに準ずるものを出資しているもの又は県内に主たる事務所を有するもので人事委員会規則で定める公益的法人等との取決めにに基づき、当該公益的法人等の業務にその役職員として専ら従事させるため、職員を派遣することができる。（第2条第1項）。